

単元名 知ろう！考えよう！広げよう！身近にある食品ロス～食品ロス減らし隊～（55/70）

本時のねらい：給食や家庭での食品ロスを減らす取組の方法について、残食量を比較・関連付けながら分析した結果や、取組に関するアドバイスをもとに、2回目の取組で目指したいことを話し合ったり、理由付けや具体化を意識しながら改善点を整理したりすることを通して、これから自分たちにできることを考えることができるようにする。

評価規準：給食や家庭での食品ロスを減らす取組の方法について、これから自分たちにできることを考えている。【思・判・表】（発言・振り返り）

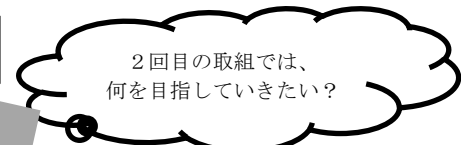
具体的な児童の姿：『食べ残し信号』について知ってもらって、全校に食品ロスをもっと意識してもらうために、放送や各クラスにお知らせに行ったらどうだろう。」

『チェックシート』にもっと気軽に取り組んでもらうために、書いてもらう項目を考え直した方がいいと思う。」

「彩先生も継続的にやるのが大切って言っていたし、意識を継続してもらうために、放送も今回だけで終わるのではなく、定期的に何回かしていった方がいいと思う。」

1/28(火) 55/70

④ 1回目の取組の結果やアドバイスをもとに、これから自分たちにできることを考えよう。



みんなが大切にしたい思い

<彩先生・調理員さんたちの思い>

- ・一口チャレンジを
- ・無理はしないで
- ・習慣化
- ・継続的に！

<彩先生の7つの工夫>

- ①材料を小さく
- ②切り方を変える
- ③味付け・かくし味
- ④皮を使う
- ⑤捨てる部分を少なく
- ⑥調理の順番
- ⑦調理の時間

<お家の人たちの思い>

- ・簡単に
- ・できることから習慣化
- ・できるときに
- ・みんな不安や心配がある
- ・食べ物の大切さ

<自分たちが調理実習で感じた思い>

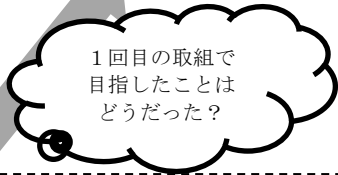
- ・料理を作るって大変！
- ・調理員さんたちは、全校だからもっと大変！
- ・作ったものが残ったら悲しくなるんじゃないかな

※「1回目の取組で目指すこと」はホワイトボードに掲示しておく。

<残食結果>

1/9～16	比較する	1/20～23
9日…大10人 小25人	↓	20日…大14人 小33人
10日…大16人 小34人	前週と	21日…大27人 小22人
14日…大27人 小8人		22日…大31人 小17人
15日…大25人 小21人	関連付ける	23日…大39人 小33人
16日…大33人 小18人	↓	
	彩先生のお話	

- <1回目の取組で目指すこと>**
- 食品ロスを意識してもらう。
 - △ 一口チャレンジをしてもらう。(≠完食)
 - △ 軽くでも食品ロスについて知ってもらう。



- ・食品ロスの意識を継続してもらいたい。
- ・一口チャレンジを継続してもらいたい。
- ・食品ロスについて、もう少し知ってもらいたい。

これに向けて、各チームでできることは何だろう。

理由付ける
(何のために)

具体化する
(何をどうする)

※本時に各チームで話し合った内容については、ホワイトボードに貼っていくようにする。

- <みんなの分析>**
- 前の週より減っている日もある。
 - 取組をした21日は小さいおかずが減っている。⇒意識してもらえたのではないかな。
 - 22日の「なっとうみそ」が少ない。⇒苦手な人が多いけど、みんな一口チャレンジしてくれたのかな。

<課題>

△減っている日もあるけど、メニューによって違う。

△苦手なメニューの豆の日をどうするか。

△放送や取組をしていない日の残食量が多い。

<チェックシートアドバイス>

△なかなか書く時間がない。

△何のために取り組んでいるかを書いた方がいい。

△項目が少し分かりづらい

△書けるマスがもう少し多い方がいいかも。

～次回見通し～

- ・各チーム、より具体的に。
- ・実際に変えたり、付け加えたりする。

⑤ 今日自分が考えたこと。

チームで話し合っ考えたこと。

次回チームでしたいこと。

- 指導**
- ① 今までの学習(「取組でみんなが大切にしたい思い」や「1回目の取組で目指すこと」)を振り返り、本時の活動の流れとめあてを確認する。(3分)
 - ② 残食量結果の分析や他クラスからのアドバイスの共有を行い、それらをもとに「1回目で目指すこと」はどうだったかを振り返り、「2回目の取組で目指したいこと」を話し合う。(15分)
 - ③ ②で話し合った「2回目の取組で目指したいこと」に向けて、自分たちのチームはどうしていきたいかをボードや実際に取り組んだものにまとめながら話し合う。
<個人で付箋に記入→チーム> ※チームで話し合う際に困りが出てきた場合は、全体で共有し、意見をもらうようにする。(20分)
 - ④ 各チームの話し合いの内容をホワイトボードに貼り、それをもとに本時の段階での進捗状況を共有する。(3分)
 - ⑤ 次時の見通しを持ち、本時の振り返りをする。(4分)

令和6年度 附属小4年3組 総合的な学習の時間 年間指導計画（70時間）

探究課題	身近な食品ロスの問題とその削減に向けて自分たちができる取組											
単元名	知ろう！考えよう！広げよう！身近にある食品ロス ～食品ロスを減らし隊～											
単元の目標	身近な問題である食品ロスについて調べたり、その削減に向けた取組を考え実践し、発信したりする活動を通して、食品ロスの削減は自分たちの生活や環境問題に関わっていることや食品ロス削減に取り組む人々の思いや願いを理解し、食品ロス削減の意義や自分たちができることについて考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。											
	4月	5月	6月	7月	8・9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1年間の学習のテーマを決めよう (5時間)				(小単元1のめあて) 食品ロスの現状や原因について知ろう (10時間)			(小単元2のめあて) 食品ロス削減に向けた取組を調べ、 自分たちができることを考えよう(40時間)			(小単元3のめあて) 食品ロス削減のためにできることを発信しよう (15時間)	
年間計画	学習活動		育成を目指す 資質・能力	学習活動		育成を目指す 資質・能力	学習活動		育成を目指す 資質・能力	学習活動		育成を目指す 資質・能力
	【課題の設定】 今年の総合では、どんなことに挑戦していきたいか。 【情報収集】 ・3年生での総合的な学習の時間について振り返る。 ・総合的な学習の時間とは、どんな時間なのかを出し合い、共有する。 ・3年生の総合的な学習の時間でどんな力を付けたか振り返る。 【整理・分析】 ・3年生の総合で付けた力について、視点を決めて整理する。 ◆知識・技能として付いた力 ◆他の場面でも生かせる力 ◆心の面で成長した力 ・4年生での新たな視点を共有する。 <新たな視点> ①学年目標～for みんなのために～ ②身のまわりの課題解決 ◆身のまわりにある課題って何がある？ 【情報収集】 ・ドスルコスルを視聴し、身のまわりにある課題について知る。 ◆自分たちが知らない課題がいろいろあるな。 ◆食品ロス、伝統工芸、環境、町おこしが自分たちにもできそうだな。 【まとめ・表現】 ・4年生の総合で大切にしたいポイントを明確にし、活動を考える。 ◆身近、「4年生」にびったり、繰り返し聞かれる、つなぐ・広げるの視点をともに決めよう。 【振り返り・知の更新】 ◆身近な課題である食品ロスに、環境の視点も入れながら取り組んでいる。		自分の関心から課題を設定している。(B-①) 過去の経験から必要な情報を収集している。(B-②) 集めた情報を比較・分類・関連付けなどして具体的な内容を決めている。(B-③) 自分の考えを目的や意図に応じてまとめ、テーマを決めている。(B-④) 学習したことを振り返り、次の課題につなごうとしている。(B-⑤)	【課題の設定】 食品ロスについて知っていることや知りたいうことについて話し合う。 ◆食品ロスって？ ◆世界や日本の食品ロスの現状は？原因は？ ◆学校や家の食品ロスはどうなっているのかな？原因は何だろうか？ 【情報収集】 ・本やインターネットなどで食品ロスの現状や原因について調べる。 ・クラスの給食の残量チェックや栄養教諭へのインタビューで学校給食の食品ロスの現状について調べる。 ・各家庭での食品ロスの現状や原因について調べる。 【整理・分析】 ・収集した情報を整理し、分析する。 ◆食品ロスは？ ◆世界、日本、大分県、大分市の現状とその原因、取組 ◆学校給食の食品ロスの現状 ◆各家庭での食品ロスの現状と原因 ◆食品ロスの主な原因として共通するもの 【まとめ・表現】 ・整理し、分析した結果をもとに、これからしたいことや自分たちにもできそうなことを考え、まとめる。 【振り返り・知の更新】 ◆食品ロスの現状や原因、取組について知ることができた。これからの学習では、どんな取組が地域で行われているかを調べたり、どんな取組が自分たちにもできそうかを考えたい。 ◆食品ロスの原因に合わせて取組を考えていく必要があるかな。 ◆自分たちにとって身近なところから、できることから取組を考えていきたいな。		自分の関心から課題を設定している。(B-①) 本やインターネット、GTの話から必要な情報を収集している。(B-②、A-①) 集めた情報を比較・分類・関連付けなどして具体的な内容や活動を決めている。(B-③) 自分の考えを目的や意図に応じてまとめ、テーマを決めている。(B-④) 学習したことを振り返り、次の課題につなごうとしている。(B-⑤)	【課題の設定】 食品ロス削減に向けて、どんな人たちがどんなことを意識し、どのように取り組んでいるのか調べる。 ◆食品ロス削減に向けて、自分たちにはどんな取組ができるのだろう。大分県や他の地域では、どんな取組をしているのかな？ ◆身近な給食地域では、どんな人たちがどんな思いで、どんな取組をしているのだろう。 【情報収集】 ・本やインターネットなどで食品ロス削減に向けてどんな取組が行われているか調べる。 ・食品ロス川柳コンテストに応募するために、どんな視点が必要か調べる。 ・家庭での食品ロスの現状について、お家の人たちにインタビューする。 ・学校給食では、どのような取組を行っているか栄養教諭にインタビューする。 【整理・分析】 ・食品ロス川柳コンテストに応募する際に大切にしたい視点について整理し、作品を作る。 ・川柳を作った視点(給食と家庭)や情報収集で知った取組をもとに、自分たちにもできそうなことについて視点を決めて話し合う。 ◆誰にでもできる＝簡単 ◆できることからはじめて習慣化 ◆できるときにできることを 【まとめ・表現】 ・自分たちにもできそうと思った取組を実際に行ってみる。 ◆食品ロス対策レシピ ◆給食についての取組 ◆お店での呼びかけ 【振り返り・知の更新】 ◆日々の生活の中で意識してもらおうのが大切そうだな。 ◆食品ロスレシピは、家の人たちに伝えたり、学校でも伝えたりするといひかな。 ◆誰に、どんな情報を伝えるかを考えたり、伝える方法も考えたりすることも必要そうだな。		小単元1の振り返りや自分の関心から課題を設定している。(B-①) 自分なりの目的に応じた方法・手段で必要な情報を収集している。(B-②、A-①) 集めた情報を比較・分類・関連付けなどして自分たちにもできる取組を決めている。(B-③) 目的や意図に応じて、取組を実際に行っている。(B-④、A-②) 学習したことを振り返り、次の課題につなごうとしている。(B-⑤)	【課題の設定】 食品ロス削減に向けた取組を学校内や家庭、四校園、地域に発信する方法を考える。 ◆伝える相手に合わせて、伝える内容や伝え方を考えていこう。 【情報収集】 ・食品ロス削減の取組を伝えられそうな相手について今までの学習をもとに考える。 ◆学校、家庭、四校園、地域 ・発信する方法として、どんな方法があるか調べる。 ◆ポスター、レシピ集、ちらし、動画 【整理・分析】 ・伝えたいことと必要なことを吟味し、伝える内容と方法を決める。 ◆学校のみならずには、給食や家庭ですぐにできそうなことを伝えようとよさそう。ちらしや動画がよさそうだな。 ◆家庭に向けては、料理のレシピを伝えると使ってもらえそう。 ◆四校園や地域の人には、食品ロスの現状を伝えることで、少しでも自分事してもらえるといいな。何度も読み返せるちらしがいいかな。 【まとめ・表現】 ・決まった伝える内容や伝える方法で発信をする。 【振り返り・知の更新】 ◆食品ロスは、自分たちの生活や環境問題に大きく関わっていることがよく分かった。日々の生活の中で意識して、少しずつ変えていくことが大切だと思った。 ◆自分たちで考えて、自分たちの生活を変えて、環境問題の解決にも少し役立つことができたのではないかなと思う。自分たちにもできることがあるんだと少し自信ができた気がする。		小単元3の振り返りや自分の関心から課題を設定している。(B-①) 自分なりの目的に応じた方法・手段で必要な情報を収集している。(B-②、A-①、C-③) 集めた情報を比較・分類・関連付けなどして具体的な発信の方法や内容を決めている。(B-③、C-②) 目的や意図に応じて、発信方法を決めている。(B-④、A-②) 学習したことを振り返り、今後の自分の生活につなごうとしている。(B-⑤、A-③、C-③)

期待される概念的な知識（相互性・協働性）：食品ロスの削減は、自分たちの生活や環境問題に関わっていることやその解決に向けて努力している人があることを理解する。